

地域医療支援病院業務報告書

令和 7 年 10 月 3 日

(申請者)
横浜市長

申請者 住 所 横浜市中区本町6丁目50番地の10

氏 名 横浜市長 山中 竹春

〔 法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕
電 話 045-316-4580(代表)

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
氏 名	横浜市長 山中 竹春

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	ヨコハマシリツシミンビョウイン
病院名	横浜市立市民病院

3 所在地

〒 221-0855 横浜市 神奈川区三ツ沢西町1-1 電話 : 045-316-4580

4 病床数(使用許可病床数)

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	26床	0床	0床	624床	650床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	病床数 <u>63</u> 床 (主な設備)
化学検査室	(主な設備) 治療用電動ベッド 治療用多目的チェアー 全自動血圧計
細菌検査室	(主な設備) 恒温槽 生物顕微鏡 バイオハザードキャビネット インキュベーター 遺伝子検出装置 自動同定感受性検査装置
病理検査室	(主な設備) システム顕微鏡 ミクロトーム 臓器撮影装置 病理検査システム 自動染色装置 自動固定包埋装置 自動免疫染色装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖鋸 切出台 デジタル計量器
研究室	(主な設備) 電子カルテ
講義室	収容定員 <u>50</u> 人 室 数 <u>1</u> 室
図書室	室 数 <u>1</u> 室 蔵 書 数 <u>2,900</u> 冊程度 雑 誌 <u>13000</u> 誌
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 <u>3</u> 台 (内訳: 救急車3台(うち1台はDMAT車)) (主な設備) 酸素ボンベ(共通)、吸引機、生体情報モニター(DMAT車除く)
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 <u>8.75</u> m ² 【共用室の場合】 _____ 室と共有

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①／②－(③＋④＋⑤)	85.5%
	①紹介患者数	19,047人
	②初診患者数	34,316人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	1,866人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	10,181人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦／②－(③＋④＋⑤)	105.7%
	⑦逆紹介患者数	23,549人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	11人	歯科医師	0人	看護師	122人
薬剤師	0人	臨床検査技師	0人	臨床工学技士	0人
診療放射線技師	0人	保健師	0人	看護補助者	0人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	24床
専用病床	24床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
ICU・CCU	430.2㎡	(主な設備)救急蘇生装置 除細動器 ペースメーカー 呼吸循環監視装置 心電計 ポータブルX線撮影装置 ポータブル型超音波診断装置 気管支ファイバー ビデオ喉頭鏡 血液凝固測定装置(ACT、ROTEM)	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
NICU	156.2㎡	(主な設備)呼吸循環監視装置 光線療法器 新生児用人工換気装置 酸素濃度測定装置 超音波診断装置 血液ガス分析装置 血液結球数CRP測定装置	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

4 備考

救命救急センター

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	8,621人
	(5,510人)
上記以外の救急患者の数	10,999人
	(5,166人)
合計	19,620人
	(10,676人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2)救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	
B：救急医療圏(2次医療圏)人口※	3,771,005人
C：A/B×1,000 > 2	0.0

※2024年4月1日時点の人口

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	100施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	100施設
医療機器共同利用件数	1,015件
共同利用病床数	24床
共同利用に係る病床の病床利用率	89%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input checked="" type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他()	<input type="checkbox"/>				
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input type="checkbox"/>	図書室	<input type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものも明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有

無

別紙1参照

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0施設
	無	709施設

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件—開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

(注)登録医療機関の名簿を添付してください。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

別紙2参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	
(2) (1)の研修参加者数	

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
管理棟 講堂	317.59㎡	(主な設備) 座席約100人、マイク、スピーカー、演台、スクリーン、LANポート(YCAN):2ポート(操作卓側)、LANポート(Web会議):2ポート(中央)、LANポート(HIS):1ポート×2か所、机:102台、椅子:306脚、その他の備品:プロジェクター
診療棟 講堂	147.72㎡	(主な設備) 机:30台+1台 椅子:105脚+2脚 その他の備品:プロジェクター、ホワイトボード
診療棟3階:研修室1	42.69㎡	(主な設備) 机:8台+1台 椅子:24脚+1脚 その他の備品:プロジェクター、ホワイトボード
診療棟3階:研修室2	42.69㎡	(主な設備) 机:8台+1台 椅子:24脚+1脚 その他の備品:プロジェクター、ホワイトボード
特別会議室	26.99㎡	(主な設備)机:大型1台 椅子:10脚 ホワイトボード

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

<p>管理責任者(役職名)</p>	<p>(病院の管理及び運営に関する諸記録) 管理部 総務課長 (その他診療に関する諸記録) 医療品質管理担当課長</p>	
<p>管理担当者(役職名)</p>	<p>(病院の管理及び運営に関する諸記録) 管理部 総務課 (その他診療に関する諸記録) 医療品質管理担当課長</p>	
<p>保管場所</p>		
<p>診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)</p>	<p>1. 病院日誌 総務課執務室 2. 各科診療日誌(病棟日誌) 各病棟 3. その他診療に関する諸記録 電子媒体:サーバー(電子カルテシステム) 紙媒体:診療情報管理室、院外倉庫</p>	
<p>病院の管理及び運営に関する諸記録</p>	<p>共同利用の実績</p>	<p>患者総合サポートセンター</p>
	<p>救急医療の提供実績</p>	<p>救急診療業務管理システム(ECLOM)</p>
	<p>地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績</p>	<p>患者総合サポートセンター</p>
	<p>閲覧実績</p>	<p>病院日誌は特になし</p>
	<p>紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿</p>	<p>患者総合サポートセンター</p>

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	(病院日誌についてのみ)総務課長		
閲覧担当者(役職名)	(病院日誌についてのみ)総務課庶務担当係長		
閲覧の求めに応じる場所	(病院日誌についてのみ)総務課執務室内		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>病診連携促進委員会として開催</p> <p>1 7月3日(集合形式)</p> <p>議論の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長の選出 ・事務局からの報告 <ul style="list-style-type: none"> 「令和5年度地域連携実績」 「初診時紹介予約制及び初診時紹介制への移行」 ・各診療科からのお知らせ <ul style="list-style-type: none"> 「脳神経内科のご紹介」(脳神経内科) 「これから整形外科が目指す 膝関節の手術」(整形外科) 「産婦人科のご紹介」(産婦人科) 「耳鼻咽喉科で行う甲状腺腫瘍の診療」(耳鼻咽喉科) ・医師会からの情報提供 ・第2回部会に向けての意見交換 <ul style="list-style-type: none"> 「初診紹介患者の新たな予約取得方法の検討について」 <p>2 9月18日(集合形式)</p> <p>議論の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告「当院の初診紹介患者予約方法」 ・議題 「LINE予約システムの導入について」 <p>3 10月30日(集合形式)</p> <p>議論の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告「当院の地域連携実績」 ・各診療科からのお知らせ「診療科のご紹介」 <p>4 3月19日(集合形式)</p> <p>議論の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療科からのお知らせ <ul style="list-style-type: none"> 「救急診療科のご紹介」(救急診療科) ・情報提供及び意見交換 <ul style="list-style-type: none"> 「部会報告とその後の取組」(患者総合サポートセンター) 「初診時紹介制移行のお知らせ」(患者総合サポートセンター) ・医師会からの情報提供 	

(注)委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

<p>患者相談を行う場所</p>	<p>相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 「その他」記入欄</p>
<p>主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)</p>	<p>社会福祉士、看護師 がん相談支援センター専従相談員(緩和ケア認定看護師) がん相談支援センター専従相談員(がん看護専門看護師) 患者相談窓口外来相談員</p>
<p>患者相談件数</p>	<p>21,539件</p>
<p>患者相談の概要</p>	
<p>患者総合サポートセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診受療援助 ・入退院調整支援 ・療養上の問題調整 ・経済問題の調整 ・制度活用に関すること ・心理・情緒的援助 ・在宅療養調整に関する支援 など <p>がん相談支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療に関する相談 ・セカンドオピニオン外来受診相談 など <p>患者相談窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療に関する相談や意見 ・職員の接遇に関すること ・患者サービス等に関すること など 	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	財団法人 日本医療機能評価機構 令和4年2月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	広報誌、ホームページ、地域医療機関訪問、メールマガジン	

3 退院調整部門

退院調整部門の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	患者総合サポートセンターにて、社会福祉士9名および看護師18名が、患者さんご家族、地域医療機関、訪問看護ステーション、行政、その他関連機関との調整を行った。	

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	大腿骨頸部骨折パス、脳卒中パス	
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	パートナー病院連携会議を開催し、講演、実績報告、意見交換などを行った。	

横浜市立市民病院 共同利用制度運営要領

制定 平成 18 年 4 月 1 日

改正 平成 27 年 4 月 1 日

第 1 総則

1 目的

この要領は、横浜市立市民病院（以下「病院」という。）の施設又は医療設備を横浜市内（以下「市内」という。）の医療従事者の診療、研究又は研修を目的とした利用（以下「共同利用制度」という。）のために開放し、市内の医療機関との連携の推進及び市内の医療従事者の相互研鑽を図ることを目的とする。

2 共同利用制度

共同利用制度の内容は、次の 4 種類とする。

- (1) 紹介患者診療型共同利用
- (2) 医療機器利用型共同利用
- (3) 研究部門利用型共同利用
- (4) 研修会等参加型共同利用

3 紹介患者診療型共同利用等を利用する医師等の遵守事項

紹介患者診療型共同利用、医療器械利用型共同利用を利用する登録医は、病院内においては次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、患者総合サポートセンターで受付を行う。
- (2) 第 2 の 5 により発行された登録医証を必ず着用する。
- (3) 病院内の諸規則を遵守する。

4 報酬等

- (1) 共同利用制度を利用する登録医に対しては、その目的に鑑み報酬等は支給しない。
- (2) 共同利用制度の実施により生じた事故等については、別途協議のうえ対応する。

第 2 医療機関等の登録

1 事前登録

共同利用制度は、研修会等参加型共同利用を除き、その利用にあたっては事前に登録をしなければならない。

2 登録名

共同利用制度の利用登録名は、医療機関名又は保険薬局名をもって登録するものとする。

3 登録の対象医療機関等

共同利用制度において登録できる医療機関又は保険薬局（以下「医療機関等」という。）は、原則として横浜市内に所在する医療機関等とする。

4 登録の申請

- (1) 共同利用制度の利用登録を行おうとする医療機関等は、「共同利用制度登録申請書」により病院長に申請するものとする。
- (2) 申請の際、医師の登録については医師免許証の写しをあわせて提出するものとする。
- (3) 病院長は、申請内容を審査し利用登録を承認した場合は、「共同利用登録機関名簿」にその登録機関の名称、所在地、共同利用制度を利用する医師の氏名等を登録するものとする。

5 登録医証及び登録機関証の発行

- (1) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関の登録医に対しては、登録医証を発行する。
- (2) 「共同利用制度登録医療機関名簿」に登録された医療機関等に対しては、登録機関証を発行する。

6 登録内容の変更

- (1) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された登録医等を追加するなどその内容を変更する場合には、「共同利用制度変更登録申請書」によりその変更を行うものとする。
- (2) 変更申請がされた場合の処理については、申請時の場合の処理に準ずる。

7 登録医証等の返還

登録の必要がなくなった医療機関等は、病院長に対しその旨申し出をし、登録医証及び登録機関証を返還しなければならない。

8 登録の取消

登録医等に医師としての品位を損するような行為等があったときは、病院長はその登録を取り消すことができる。看護師、薬剤師その他の医療従事者において品位を損するような行為等があったときも同様とする。

第3 紹介患者診療型共同利用

1 紹介患者診療型共同利用の内容

市内医療機関から紹介され入院した患者の診療について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが共同して、随時当該患者の検査、処置又は指導を行うことにより、退院後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした診療型の共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の登録医等とする。

3 共同利用のための専用病床

当該共同利用のための専用病床を確保する。

4 事前調整

紹介入院となった患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ患者総合サポートセンターに連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第4 医療器械利用型共同利用

1 医療器械利用型共同利用の内容

市内医療機関が検査目的で紹介する患者の検査について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが病院内の医療器械を共同利用することにより、検査後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の登録医等とする。

3 対象医療器械

当該共同利用として利用できる医療器械は、別に定める。

4 事前調整

検査目的で紹介した患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ患者総合サポートセンターに連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第5 研究部門利用型共同利用

1 研究部門利用型共同利用の内容

病院の研究部門の機能を登録医療機関等の医療従事者のために開放し、登録医療機関等の医療従事者の研究活動を支援するとともに、必要によりその研究活動に対し互いに連携し、その研究活動を進めるもので、市内医療従事者の資質向上を図るための共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる市内医療従事者は、登録された医療機関等に勤務する医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研究部門

当該共同利用のために利用できる共同部門は、図書室とする。

4 利用時の手続等

- (1) 図書室の利用にあたっては、登録医証又は登録機関証を提示し、当該室所定の手続を行って利用するものとする。
- (2) 図書室の利用については、個人情報以外の情報等に限るものとする。

第6 研修会等参加型共同利用

1 研修会等参加型共同利用の内容

病院が行う研修研究活動を市内の医療従事者に開放し、市内医療従事者とともに連携しながら研修研究活動を進めるもので、市内医療従事者の資質向上を図るための共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる市内医療従事者は、市内の医療機関に勤務する医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研修会等

当該共同利用のために利用できる研修会等は、次のとおりとする。

- (1) 本院が主催する講演会又は研修会、その他これに類する研修研究活動
- (2) 病院各診療科が開催する各科症例検討会、研究会又はこれに類する研修研究活動

4 利用時の手続

当該共同利用により開催される研修会等を利用しようとする市内医療従事者は、開催された研修会等会場に備え付けの利用簿に必要事項を記入するものとする。

附則

(施行日)

- 1 この要領は、平成18年4月1日から施行する。

附則

- 1 この要領は、平成27年4月1日から施行する。

令和6年度 横浜市立市民病院 研修実績

別紙2

No.	開催日	研修名	概要	企画・講師	地域医療従事者 参加人数
1	5/13	看護部公開研修(認知症看護1)	認知症、せん妄について 病態や症状を理解し、適切なケアを学ぶ	市民病院 看護部	1
2	5/30	エイズ治療中核拠点病院研修①	神奈川県医療従事者エイズ・HIV診療研修会	市民病院 経営戦略課・当院医師、 看護師、薬剤師、MSW	43
3	5/31	第1回感染管理地域連携研修会	川崎市立川崎病院における 血液・体液曝露後の対応と予防策	市民病院 感染管理室	25
4	6/17	看護部公開研修(精神看護)	人をケアするように自分をいたわるひとときを過ごす	市民病院 看護部	1
5	6/27	看護部公開研修 (市民病院のがん患者の取り巻く環境/がん相談窓口)	エビデンス(科学的根拠)に基づいた症状マネジメントや がん看護の最新情報をする	市民病院 看護部	4
6	6/28	薬物療法研修会①		市民病院 薬剤部	20
7	7/8	看護部公開研修(不整脈と心電図異常)	重症かつ急性期にある患者に対するタイムリーな観察と アセスメント、適切なケアについて学ぶ	市民病院 看護部	1
8	7/19	看護部公開研修(摂食嚥下に関わる脳と神経)	摂食嚥下に関わる知識・技術・姿勢を身につける	市民病院 看護部	4
9	7/26	看護部公開研修(症状マネジメント:疼痛)	エビデンス(科学的根拠)に基づいた症状マネジメントや がん看護の最新情報をする	市民病院 看護部	6
10	8/1	薬物療法研修会 『がん・緩和薬物療法における漢方製剤の使い方』		市民病院 薬剤部	61
11	8/22	地域研修委員会主催研修「腹部の画像診断について」	MRCPの画像紹介 腹部エコーのコツ 腹部画像検査の使い分け	市民病院 地域研修委員会	42
12	8/23	看護部公開研修(がん薬物療法の看護1)	ケアの根拠を明確にし、知識・技術がステップアップできる	市民病院 看護部	5
13	9/4	地域研修委員会主催研修「地域で作るリハビリテーション」	地域で作るリハビリテーション 訪問で役立つフィジカルアセスメント 心臓リハビリテーションについて	市民病院 地域研修委員会	44
14	9/4	第2回 BLS研修	一次救命処置 BLS について	蘇生教育部会	11

令和6年度 横浜市立市民病院 研修実績

別紙1

No.	開催日	研修名	概要	企画・講師	地域医療従事者 参加人数
15	9/6	第2回感染管理地域連携研修会	海外渡航後の患者の受け入れ: 薬剤耐性菌アウトブレイクを防ぐために	市民病院 感染管理室	28
16	9/5	薬物療法研修会 『地域連携によるがん・緩和薬物療法の安全確保』		市民病院 薬剤部	44
17	9/5	エイズ治療中核拠点病院研修②	HIV・エイズ診療等出張講習(医療機関向け)	市民病院 経営戦略課・当院医師、 看護師、MSW	23
18	9/9	看護部公開研修(急変対応)	重症かつ急性期にある患者に対するタイムリーな観察と アセスメント、適切なケアについて学ぶ	市民病院 看護部	2
19	9/10	褥瘡ケア研修会(基礎編)	褥瘡の基本 褥瘡予防・管理のためのアセスメント向上をめざして	市民病院 褥瘡ケアチーム	35
20	9/12	薬物療法研修会『中毒』		市民病院 薬剤部	21
21	9/13	看護部公開研修(精神看護)	日々の看護の中で対応に苦慮することの多い患者さんの 精神的問題とそのケアについて学ぶ	市民病院 看護部	1
22	9/27	看護部公開研修(がん放射線療法の看護)	エビデンス(科学的根拠)に基づいた症状マネジメントや がん看護の最新情報を知る	市民病院 看護部	1
23	10/4	エイズ治療中核拠点病院研修③	第15回神奈川HIVフォーラム	市民病院 経営戦略課・当院医師、 地域医療機関医師	65
24	10/18	人工呼吸管理研修①	「在宅人工呼吸管理のポイント」 ～在宅人工呼吸器導入支援／指導を通じて～	市民病院 臨床工学部	19
25	10/11	摂食嚥下地域連携研修会	摂食嚥下に関する基礎知識、食事場面の工夫(症例提示)、 食形態の工夫、食事介助のポイント、とろみの付け方のコツ	市民病院 患者総合サポートセンター	32
26	10/18	薬物療法研修会『鎮静・鎮痛・せん妄』		市民病院 薬剤部	24
27	10/25	看護部公開研修(乳がん看護)	エビデンス(科学的根拠)に基づいた症状マネジメントや がん看護の最新情報を知る	市民病院 看護部	6
28	10/29	看護部公開研修(人工呼吸器、NPPV装着中の管理とケア)	重症かつ急性期にある患者に対するタイムリーな観察と アセスメント、適切なケアについて学ぶ	市民病院 看護部	2

令和6年度 横浜市立市民病院 研修実績

別紙1

No.	開催日	研修名	概要	企画・講師	地域医療従事者 参加人数
29	11/1	第2回 褥瘡ケア研修会	形成外科医からみた褥瘡治療について 医療関連機器褥瘡(MDRPU)を知ろう	市民病院 褥瘡ケアチーム	35
30	11/1	エイズ治療中核拠点病院研修④	HIV・エイズ診療等出張講習(医療機関向け)	市民病院 経営戦略課・当院医師、 看護師、MSW	17
31	11/13	第3回 BLS研修	一次救命処置 BLS について	蘇生教育部会	2
32	11/14	薬物療法研修会『敗血症』		市民病院 薬剤部	30
33	11/15	第3回感染管理地域連携研修会	手指衛生を病院の文化にするために必要なこと	市民病院 感染管理室	52
34	11/22	看護部公開研修(症状マネジメント:呼吸器症状)	エビデンス(科学的根拠)に基づいた症状マネジメントや がん看護の最新情報を知る	市民病院 看護部	5
35	12/6	地域研修委員会主催研修『トリアージ』	緊急度判定の考え方 トリアージとACP 横浜市の救急状況について	市民病院 地域研修委員会	39
36	12/13	エイズ治療中核拠点病院研修⑤	HIV感染者・エイズ患者の 在宅医療・介護の環境整備事業『実地研修』	市民病院 経営戦略課・当院医師、看護師、 薬剤師、MSW、NPO法人講師	2
37	12/18	薬物療法研修会 『心不全ケアを知れば怖くない、心不全フォローアップのススメ』		市民病院 薬剤部	30
38	12/18	高齢者虐待対策研修	入院患者の身体抑制を減らす取組	市民病院 こどもの安全を守る部会	10
39	1/6	看護部公開研修(認知症看護3)	認知症、せん妄について	市民病院 虐待対策研修会大人の安全を守る部会	1
40	1/15	薬物療法研修会『認知症』	病態や症状を理解し、適切なケアを学ぶ	市民病院 薬剤部	11
41	1/17	児童虐待対策研修	乳児院における養育支援について	市民病院 虐待対策研修会こどもの安全を守る部会	0
42	1/22	医療と介護の連携研修	キレイな手で健康を支えよう	市民病院 患者総合サポートセンター	10

令和6年度 横浜市立市民病院 研修実績

別紙1

No.	開催日	研修名	概要	企画・講師	地域医療従事者 参加人数
43	1/22	看護部公開研修(糖尿病 実践②)	糖尿病の基礎知識と応用力を養う	市民病院 看護部	8
44	1/23	看護部公開研修(エンドオブライフケア)	エビデンス(科学的根拠)に基づいた症状マネジメントや がん看護の最新情報を知る	市民病院 看護部	2
45	2/3	第4回 BLS研修	一次救命処置 BLS について	蘇生教育部会	4
46	2/5	外科的矯正治療勉強会	顎矯正手術に対して考えるところー移動方法や限界を含めてー Maxillomandibular movement in Orthognathic Surgery -Cases from my department of Oral and axillofacial Surgery-	市民病院 歯科口腔外科	8
47	2/6	人工呼吸管理研修②	在宅人工呼吸の災害対策について	市民病院 臨床工学部	30
48	2/12	薬物療法研修会『論文の読み方』		市民病院 薬剤部	9
49	2/13	地域研修委員会主催研修『骨密度』	高齢者の骨折予防と対策 骨密度検査の精度と重要性 骨粗鬆症と栄養	市民病院 地域研修委員会	31
50	2/28	第4回感染管理地域連携研修会	なぜあの人は健康行動をしない？ ー ナッジで人を動かすー	市民病院 感染管理室	32